

氏名	渋谷 修
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 3383 号
学位授与の日付	平成11年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Endometrial Carcinoma: Efficacy of Thin-Section Oblique Axial MR Images for Evaluating Cervical Invasion (子宮体癌: thin-section oblique axial MR画像による 頸部浸潤評価の有用性)
論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 田中 紀章 教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

67名の子宮体癌患者を対象に術前に通常の矢状断像を中心としたT2強調像と造影T1強調像に加えてthin section oblique 横断面のT2強調像と造影T1強調像を撮像し、摘出標本の病理所見を比較することによって頸部浸潤の診断能を比較した。正診率は従来のT2強調像では74.7%、thin section oblique 横断T2強調像では89.5%、従来の造影T1強調像では82.0%、thin section oblique 横断造影T1強調像では95.5%で、T2強調像、造影T1強調像ともthin section oblique横断像が有意に診断能が優れていた。子宮体癌の頸部浸潤の診断において、thin section oblique横断面のT2強調像と造影T1強調像は内子宮口から頸部の様子を詳細に観察できるため、矢状断像を中心とした従来の診断法に比べて診断能が優れており、子宮体癌の術前検査として有用な撮像法と思われる。

論文審査結果の要旨

本研究は、子宮体癌の頸部浸潤の診断において、thin section oblique 横断面のT2強調像と造影T1強調像が矢状断像を中心とした従来の診断法に比べて診断能が優れ、子宮体癌の術前検査として有用な撮像法であることを明らかにした価値ある業績と考えられる。

よって、本研究は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。